

檜原だより

前期学校評価号



TEL 391-5683 FAX 391-5675
katagihara-s@edu.city.kyoto.jp



令和3年10月20日
京都市立檜原小学校
校長 由良 智佳子

平素は学校教育にご理解・ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。第1回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。結果を総合的に分析して、成果と今後の課題について考察しました。限られた紙面ですが、お知らせいたします。

学校教育目標

～人とつながり、いきいきと活動する子～

目指す子ども像

- 【知】主体的に学ぶ子
- 【徳】思いやりのある子
- 【体】心も体も元気な子

〈児童アンケート結果〉



児童	そう思う	大体そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
1 私は、進んで学習に取り組んでいる。	55%	34%	9%	2%
2 私は、先生や友だちの話をよく聞いている。	56%	35%	7%	2%
3 私は、授業中、自分の考えをしっかりと話している。	46%	31%	18%	5%
4 私は、進んであいさつをしている。	53%	31%	12%	4%
5 私は、自分やみんなのものを大切にしている。	72%	23%	4%	1%
6 私は、思いやりをもち、友だちと仲良く過ごしている。	73%	22%	4%	1%
7 私は、学校や学級のルールを守り、安全に気をつけて行動している。	64%	31%	4%	1%
8 私は、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣がついている。	56%	31%	10%	3%
9 私は、自分で考え行動し、何事も最後までやりとげようとしている。	56%	33%	9%	2%
10 私には、よいところがある。	66%	24%	7%	3%
11 私は、将来の夢や目標をもっている。	75%	15%	5%	4%
12 私は、外遊び等、進んで運動している。	61%	23%	11%	4%
13				
14 私は、学校に安心して楽しく通っている。	72%	21%	5%	2%
15 私は、みんなが楽しいと思える、いじめのないクラスにしようとしている。	72%	21%	4%	3%
16 授業は、よくわかる。	66%	25%	7%	2%
17				
18 私の朝読書以外の読書時間は 4,1時間以上 3,30分程 2,10分程 1,0分	32%	35%	25%	8%
19				
20 私は、気になることがあれば、担任の先生に相談できる。	57%	27%	11%	5%
21				
22				

〈保護者アンケート結果〉



保護者	そう思う	大体そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
1 子どもは、進んで学習している。	22%	51%	24%	3%	0%
2 子どもは、先生や友だちの話をよく聞いている。	32%	58%	8%	1%	2%
3 子どもは、自分の考えをしっかりと話している。	27%	55%	15%	2%	1%
4 子どもは、進んであいさつをしている。	22%	43%	30%	3%	2%
5 子どもは、自分やみんなのものを大切にしている。	31%	53%	13%	2%	1%
6 子どもは、思いやりをもち、友だちと仲良く過ごしている。	44%	52%	3%	0%	1%
7 子どもは、ルールを守り、安全に気を付けて行動している。	36%	54%	9%	0%	1%
8 子どもは、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣がついている。	46%	38%	13%	2%	0%
9 子どもは、自分で考えて行動し、何事も最後までやりとげようとしている。	19%	59%	18%	3%	1%
10 子どもは、自分のよさに気付いている。	17%	52%	23%	3%	5%
11 子どもは、将来の夢や希望をもっている。	28%	41%	21%	4%	5%
12 子どもは、外遊び等、進んで運動している。	43%	31%	20%	6%	0%
13 学校教育目標「人とつながり、いきいきと活動する子」の実現に努めている。	24%	60%	5%	1%	10%
14 子どもは、安心して楽しく学校に通っている。	49%	44%	5%	2%	0%
15 学校は一人一人の人権を大切にした学校・学級づくりを進めている。	29%	57%	2%	1%	11%
16 わかりやすい授業が行われている。	31%	54%	2%	1%	12%
17 学校の環境整備（整理整頓や清掃など）ができています。	24%	57%	4%	2%	13%
18 学校はホームページや学校だよりなどで、学校の様子を保護者に伝えている。	41%	52%	4%	1%	1%
19 小学校と中学校の連携がとれている。	8%	23%	11%	3%	55%
20 気になることがあれば、教職員に相談している。	34%	52%	7%	1%	5%
21 保護者は学校行事に参加しやすい。	28%	53%	10%	3%	7%
22 学校は、家庭・地域の思いを大切に、取組を進めている。	25%	56%	4%	1%	14%

〈教職員アンケート結果〉



教職員	そう思う	大体そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。	28%	68%	2%	0%
2 児童は、先生や友だちの話をよく聞いている。	15%	69%	15%	0%
3 児童は、自分の考えをしっかりと話している。	4%	78%	18%	0%
4 児童は、進んであいさつをしている。	6%	55%	36%	4%
5 児童は、自分やみんなのものを大切にしている。	8%	77%	15%	0%
6 児童は、思いやりをもち、友だちと仲良く過ごしている。	31%	69%	0%	0%
7 児童は、ルールを守り、安全に気を付けて行動している。	13%	85%	2%	0%
8 児童は、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣がついている。	6%	86%	8%	0%
9 児童は、自分で考え行動し、何事も最後までやりとげようとしている。	12%	67%	22%	0%
10 児童は、自分のよさに気付いている。	6%	75%	20%	0%
11 児童は、将来の夢や目標をもっている。	8%	80%	12%	0%
12 児童は、外遊び等進んで体を動かしている。	43%	51%	6%	0%
13 自分は、学校教育目標「人とつながり、いきいきと活動する子」の実現に努めている。	41%	57%	2%	0%
14 自分は、学校いじめ防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めている。	43%	57%	0%	0%
15 自分は、一人一人の人権を大切にした学校・学級づくりを進めている。	48%	50%	2%	0%
16 自分は、児童にとって分かりやすい授業を行っている。	23%	68%	9%	0%
17 自分は、学校や学級の環境整備（整理整頓や清掃など）に努めている。	42%	58%	0%	0%
18 自分は、ホームページや学級だより、家庭訪問などで、学級や子どもの様子を保護者に伝えている。	23%	64%	13%	0%
19 自分は、来校者に対して、ていねいに対応している。	53%	47%	0%	0%
20 保護者は、気になることがあれば、自分に相談してこられる。	15%	70%	15%	0%
21 学校は、保護者が学校行事（参観・懇談など）に参加しやすいように工夫している。	41%	53%	4%	2%
22 自分は、家庭・地域の思いを大切に、取組を進めている。	36%	62%	2%	0%



〈考察〉

【児童アンケート結果より】

10.「私には、よいところがある。」、11.「私は、将来の夢や目標をもっている。」は、いずれも9割近くが肯定的な答えでした。この2つの項目は6年生で実施される全国学力・学習状況調査の質問紙調査にもありますが、肯定的な答えはそれぞれ77%、80%、となっています。全国平均に比べ、本校児童は約 1 割上回っていることがわかります。昨年度より取り組んできた「キャリア教育」では、「つながる力」「夢見る力」「チャレンジする力」を意識して進めています。この3つの力を学習のめあてにも取り入れるなど、普段からなりたい自分をイメージしたり、それに向かってどう過ごすのかを考えたりすることを大切にしてきたことが、成果として現れてきたと考えられます。年度末には「キャリアパスポート」を持ち帰りますので、お子様の1年の成長を一緒に振り返っていただきたいと思います。

6.「私は、思いやりをもち、友だちと仲良く過ごしている。」では、9割以上肯定的な答えがありました。14.「私は、学校に安心して通っている。」、15.「いじめのないクラスにしようとしている。」でも、9割が肯定的な答えであることと関わっていると考えられます。しかし、一方で肯定的でない回答をした児童がいることを教職員全体で受け止め、学級づくりや学校全体の取組を進めていきます。

【保護者アンケート結果より】

4.「子どもは、進んであいさつしている。」では、児童は 8 割が肯定的な答えでしたが、保護者と教職員の同じ項目では、肯定的な答えが6割で、昨年度の7割よりも落ち込みました。児童自身は挨拶をしているつもりですが、十分に相手に伝わっていないことと考えられます。また、常にマスクをしていることも伝わりにくいことにつながっていると考えられます。人とのつながりが制限される今こそ、気持ちよい挨拶を意識し、つながっていききたいものです。学校では、「あいっぱさん」の合言葉をもとに、教職員が率先して挨拶をしていきます。ご家庭でも、挨拶を交わすことを大切に、児童へのお声かけをよろしくお願いいたします。

10.「子どもは、自分のよさに気付いている。」では、肯定的な答えが約 7 割でした。児童の「わたしには、よいところがある。」の 9 割の肯定的な答えに対して、2 割も落ち込んでいます。また、答えの内訳をみると、児童の「そう思う」が66%に対して、保護者は17%とかなりの差があります。児童の「大体そう思う」が24%に対して、保護者は52%です。これ

は、教職員も同様で、肯定的な答えは約8割と高いのですが、内訳は「そう思う」が6%「大体そう思う」は75%と児童の答えと差がありました。児童が自分のよいところだと認識しているところが何かを、家庭でも学校でも共有することが必要であると考えます。児童が感じているよいところを認め、おうちの方といきいきと活動する子の育成を目指し、取組を進めてまいります。

【自由記述欄 「お子さんを育てていく中で、ご家庭で工夫されていることがありましたら、ご記入ください。」より】

「ほめる」というご意見が多数ありました。「小さなことでも意識してほめる」「できたことをほめる」「他の子と比較するのではなく、子ども自身ができるようになったことや成長した点を具体的にほめる」「その時できなくても、がんばったことをほめる」などのご記入がありました。

学年が上がると、子どもは新しくできることが増えたり、できなかったことができるようになったりしていきます。その成長は、学年や年齢に比例するものではなく、子ども一人一人によって異なります。大人にとってはできて当然だと思うことでも、子どもたちにとっては難しいこともあります。できて当たり前ではなく、できたことをほめる、いつもできていることをほめる、がんばろうとする姿勢をほめるなど、たくさんほめることが子ども達の成長をさらに伸ばすことになります。学校では担任をはじめ、教職員全体がいろいろな場面での子ども達の様子を敏感にとらえ、ほめることにつなげるよう心がけています。ご家庭でも、子ども達に前向きな声かけを意識していただくと、さらに成長することと思います。忙しい毎日の中ですが、よろしくお願いいたします。

教職員一同、これからも檜原小学校児童のよりよい育ちのためにご家庭と手を取りあってがんばってまいります。お気づきの事があれば、いつでも学校までご連絡ください。

